甲賀市地域医療審議会資料 令和7年(2025年)9月16日 健康福祉部信楽中央病院

甲賀市立信楽中央病院経営強化プランに基づく進捗状況について

甲賀市立信楽中央病院は、甲賀保健医療圏における回復期機能及び初期救急等の役割を担う病院として、また、地域医療に根ざした「かかりつけ医」として総合医療の役割を担う病院として、持続可能な地域医療体制を確保するため、近隣病院や医療・介護・福祉の各関係機関との連携による入院患者の受入やレスパイト入院の拡充に努めることで経営強化に取り組んでいる。

また、在宅療養支援病院として、へき地等における出張診療・訪問診療を継続的に 行いながら地域包括ケアシステムの一翼を担うことで在宅医療の推進に努めている ところである。

令和6年度から「甲賀市立信楽中央病院経営強化プラン」に基づき、全職員が危機 感をもって経営強化に取り組んでいるが、収支バランスは厳しい状況であり、今後も 関係機関と一層の連携を図りながら、経営改善に努めていく。

1. 病院体制 (令和7年3月31日現在)

(1) 診療日

月曜日から金曜日(12月29日~1月3日除く)

- (2) 診療時間 9:00~17:00
 - 受付(午前)8:00~11:30/(午後)13:30~16:00
- (3) 出張診療 多羅尾:第1・3金曜日/朝宮:第2水曜日/田代:第3水曜日 診療時間 14:30~受付患者終了まで(受付14時から15時)
- (4) 診療科目

総合診療外来(内科・外科・小児科・リハビリテーション科)

- (5)病 床 数 40床 (一般病床27床 地域包括ケア病床13床)
- (6)職員

常勤医師4名(非常勤医師7名)/看護師23名/社会福祉士1名/ 医療技術10名/事務7名(正規職員45名)

(会計年度任用職員:看護師1名/看護助手3名/医療事務4名/事務補助員1名/ 用務員2名)

- 2. 令和6年度信楽中央病院の経営強化プランの評価
- (1)役割・機能の最適化と連携強化
- ① 地域医療構想を踏まえた信楽中央病院の果たす役割・機能・・・P17~P18 地域における病床機能の役割については、回復期機能の病床を有する当院として、

急性期を脱した患者の受入れや在宅医療への円滑な流れを作る役割を担い、また、在 宅療養患者の急変時の対応やレスパイト入院などの提供体制について関係機関との 連携を図り対応している。

それを踏まえ、令和6年4月から院内に地域連携室を設置し、正規職員(社会福祉士)を配置したことで、近隣病院や関係機関との連携により入院患者数は大幅に向上している。

また、本経営強化プランには、当院が果たす役割として地域に根ざした「かかりつけ医」としての総合医療の役割をはじめ、7項目について明記しており、それぞれ役割は果たせていると考えるが、拡充にはつながっていない状況である。

<u>これについては、令和6年度から常勤医師が4名体制となり、改めて職員の協力体</u>制を図りながら体制づくりに努めたい。

② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・・・P18

地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備については、積極的な協議を行えていない状況である。<u>まずは令和7年度から信楽地域の地域包括支援センターをはじめ</u>介護、福祉施設と連携を図りながら地域医療の推進に努めたい。

③ 機能分化・連携強化・・・P18

当院は、これまでから信楽地域を中心に一次医療を提供しており、救急医療や在 宅医療、出張診療など急性期から回復期機能の役割を果たすとともに、二次及び三次 医療機関との医療連携を図りながら、患者様の容態に合わせ対応している。

また、当院では、令和6年12月から40床の内、13床を地域包括ケア病床に一 部転換し、令和7年度から21床に拡充し、長期入院症例についても公的医療機関と して受け入れに努める。

④ 医療機能等指標に係る数値目標・・・P19

(令和7年3月末現在)

		実績	実績			目標		
指標	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 目標	令和 6 年度 目標 実績		令和 8 年度	令和 9 年度
公立甲賀病院からの	<i>(</i> +-	2.6	7 -	6.0	5 6	7.0	9.4	0.6
患者受け入れ数	件	2 6	7 5	6 0	(93. 3%)	7 2	8 4	9 6
レスパイト入院数	数件		4.7	4.0	9 4	4 8	4 8	4 8
レスハイト八院数	14	_	4 7	4 8	(195. 8%)	(100)	(100)	(100)
救急応需率	%	_	_	8 0	77. 7%	8 0	8 0	8 0
救急受け入れ件数	件	1 4 5	1 4 4	1 6 0	153	160	160	160
地域包括ケア病棟入	%			7 -	76 00/	7 -	7 5	7 5
院料在宅復帰率	%	_		7 5	76. 8%	7 5	7 5	7 5

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

① 医師・看護師等の確保・・・P20

医師については、滋賀県から自治医科大学卒業医師の派遣を受けているが、<u>令和6年度から1名減の4名体制となり経営基盤の安定化を図るうえで厳しい状況である。</u>これまで滋賀県には5名体制の確保に向け要望を行っているが、今後の信楽地域における人口の推移、当院の規模も含め改めて常勤医師体制について協議を行っていく。 看護師については、令和7年3月末現在、23名体制で業務にあたっているが、病棟、外来、救急対応に加え、出張診療や訪問診療などたいへん厳しい状況である。今後も引き続き看護師確保に向け努めていく。

② 医師の働き方改革への対応・・・P20

医師の働き方改革に向け、当院としても勤務時間等の管理を行っており、36協 定内容に定める時間外労働時間数の範囲内で対応している。

(3) 施設・設備の最適化

① 長寿命化計画について・・・P22

当院は、平成12年の新館増築工事を期に、本館の給水・電気設備・外壁塗装・屋根防水工事等の大規模改修工事を実施しているが、その後約25年が経過しており、新館部分の設備を含め、改めて大規模改修が必要な時期に来ている。本経営強化プランでは、令和11年までに検討することとしているが、雨漏れ等により老朽化の進行も著しい。ついては、令和7年度に大規模改修の整備方針を策定し、なるべく早期に改修工事に着手したい。

② 医療機器・・・P22

医療機器の更新については、令和6年度超音波診断装置(エコー)の更新を行ったが、高周波手術装置(電気メス)については院内での再協議の結果、更新を見送った。 令和7年度は内視鏡の更新を予定している。

③ デジタル化の対応状況・・・P22~P23

現在、びわ湖あさがおネット(滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会)に参画しながら、県内医療機関との情報共有を行っている。

当院では、マイナンバーカードを使用してのオンライン保険証確認システムに併せ、福祉医療費助成 (PMH) についても早々にシステム改修済である。また、11月に電子 決済サービスも導入し、患者様の利便性向上に努めている。

図表15 院内におけるシステム化の検討事項・・・P23

項目	方針
在宅診療	オンライン診療 (導入未)
会計	自動会計システム(導入未)、電子決済サービス(導入済)
外来対応	問診 AI システム(導入未)

(4)経営の効率化等・・・P23

令和9年度(2027年度)に経常黒字化すべく次のとおり目標を設定

(1) 経営指標に係る数値目標 (単位:%、人、円)···P23

指標	実績	実績	目標							
	令和4	令和 5	令和 6		令和7	令和8	令和9			
	年度	年度	目標	実績	年度	年度	年度			
病床利用率	39.2	55.2	80.0	76.3	80.0	85.0	85.0			
延べ入院患者数	5,726	8,087	11,680	11,141	11,680	12,410	12,410			
建 、八机忠有数	3,720	0,007	11,000	(95.4%)	11,000	12,410	12,410			
入院患者1人1日	43,573	36,283	29,576	25,869	30,100	30,100	30,100			
当たり収入額	43,373	30,263	29,370	(87.5%)	30,100	30,100	30,100			
外来患者数	23,353	21,950	24,600	21,361	24,600	24,600	24.600			
77.不芯有奴	25,555	21,930	24,000	(86.8%)	24,000	24,000	24,600			
外来患者1人1日	10,268	9,830	10,000	9,003	10,000	10,000	10,000			
当たり収入額	10,200	9,030	10,000	(90.3%)	10,000	10,000	10,000			

(2) 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標 (単位:%)・・・P23

	実績	実績			目標		
指標	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 目標	6 実績	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
経常収支比率	169. 9	107.8	95. 1	89. 4	99. 2	100. 2	100.4
修正医業収支比率	75. 4	78. 2	76. 9	70. 4	75. 9	77. 4	78.0
給与費対医業収益	80. 2	87. 1	81. 6	91. 1	84. 3	82. 5	83. 4
比率	00. 2	07.1	01.0	91. 1	04. 3	02. 0	03. 4
材料費対医業収益	18. 1	14. 3	15. 1	15. 9	15. 1	15. 1	15. 1
比率	18.1	14. 3	15.1	15. 9	15. 1	15. 1	15. 1

(3) 目標達成に向けた具体的な取り組み・・・P24~P25

取組事項	具体的な内容	評価
1. 地域連携の強化	公立甲賀病院、甲南病院と3病院間で、地域医	公立甲賀病院からの転院
	療連携室を通して病病連携を進めています。当	受入は年度目標 60 件に対
	院は、急性期治療が終了した後の回復期におい	し56件 (93.3%)
	て、地域連携パスを活用し、転院・在宅復帰へ	甲南病院からは8件、滋賀
	の支援を行います。	医大からは 5 件の受入実
	地域の多職種連携の会である包括ケアネット	績となっている。
	ワークしがらき(訪看、老健、障害施設など)	
	とも連携強化を行います。	
2. 救急隊との連携	甲賀消防や公立甲賀病院との連携を図り、圏域	令和 6 年度の救急受入要
	内での救急患者の受け入れ件数向上に努めま	請 197 件に対し、受入 153
	す。救急応需率をモニタリングして、お断り件	件、拒否 44 件で応需率は
	数の減少を、当院で治療可能な症状・疾患の共	77.7%となっている。
	有、症例検討会などの実施を検討します。また、	数値については、毎月の院
	「在宅療養支援病院」として、在宅医療相談窓	内会議で報告を行い、応需
	口の設置、24時間体制での訪問診療や看取り	率をモニタリングしてい
	などの在宅医療、在宅療養のサポートを継続し	る。
	ます。	
3. レスパイト入院の	「在宅療養支援病院」として、レスパイト入院	48 件の年度目標に対し、
受け入れ強化	の受け入れを強化し、在宅療養患者とその家族	94 件と目標値を大幅にク
	を支援します。	リアしている。(195.8%)
4. 地域包括ケア入院	回復期機能の需要が高まる見込みであり、一部	令和6年12月から13床
医療管理料の運用	病床で地域包括ケア入院医療管理料を届け出	を地ケアに転換し運用を
	ることを検討します。	開始した。
5. 地域に根差した広	病院のイメージアップと特徴について自己発	病院ホームページの閲覧
報活動	信する事で、利用者が病院を選ぶ決め手となる	数は 2023 年 59,285 件に
	ように、独自のホームページを開設し運営して	対し、2024年は40,924件
	います。また、地域に出向いての健康推進教育	と減少しているが、
	等の出前講座を積極的に実施し、当院の特色で	LINE, INSTAGRAM での情報
	ある総合診療、在宅医療を広報します。病院フ	発信も行っている。病院フ
	ェスタの再開も検討します。	ェスタは令和8年度以降
		で実施予定。
6. データによる経営	加算算定の強化による増収を見込みます。	令和 6 年の診療報酬改定
指標の管理	また、令和5年度にデータ提出加算の届出を済	で新設された特養、老健等
	ませており、今後は分析システムを活用して、	の協力対象施設入所者入

データに基づく経営指標のモニタリングを行	院加算や賃上げのための
います。	ベースアップ評価料と併
	せて、今年度6つの施設基
	準の届出を行い、新しい加
	算を算定開始した。
	また、経営強化プラン作成
	を委託したコンサルの分
	析システムに DPC データ
	等を用い経営指標のモニ
	タリングも開始している。

- (5) 目標達成に向けた3つの約束とアクションプラン・・・資料3-②、資料3-③ 目標達成に向け、具体的な取り組みについて職員一人ひとりの自覚と実践につながるよう、3つの約束とアクションプランを策定し進捗管理を行った。
 - (6) 収支計画および実績(令和7年3月末現在)・・・資料3-④

資料 3 - ②

甲賀市立信楽中央病院経営強化プラン 目標達成に向けた 3つの約束

公立病院として「持続可能な地域医療提供体制の確保」を図るとともに、地域包括ケアシステムの一翼を担い「市民に信頼される病院」を目指すため、甲賀市立信楽中央病院経営強化プランを策定しました。 その実現に向け、病院職員一人一人が自覚を持ち、各部署において以下の取り組みを約束します。

R6年度評価

 \downarrow \bigcirc , \triangle , \times

			1	記入者	判定		
		1	行政と密に連携し、地域の医療需要を把握、きめ細かく対応します。	北	\triangle		
診療	 奈 部	2	総合診療を柱としたプライマリケアを実践します。(救急~在宅まで)	川 院	0		
		3	チーム医療を推進し、多職種により入院情報を共有します。	長	0		
	接続部 2 総合金をかとしたブライマリケアを実践します。(私金へ不もまで) 3 1 - A 悪点を料達し、多物をしまり入院情報を共有します。 1 早以入院は着級ジを入する社相し、収益 るこののます。 2 中国アンケート構具を公表し、接温の場上がの表す。 3 別の研修を主流し、物別のスキルアップを図ります。 4 振過を選出し、対力やすいが成。スキーズを設備が受けられるように看達を提供します。 4 振過を選出し、対力やすいが成。スキーズを設備が受けられるようサポートします。 3 同様がして対象や専門知識の習得に努め自己以及を目指します。地域で担当の著像と目指し、確の相談の表情と対し、レスペイト入を含むりを目指します。 4 世間別数との遺跡を関して、出書権が廃止できる機能をサポートします。(他来過程かり) 5 世間別数との遺跡を関して、以上のペイルスを含むりの数を大小れた主義します。 7 常院があるさればし、人間の表情を目指しより。 3 関係と示し、対し、レスペイト入を含むりを表して共善性が上ます。 4 大スクシノトを推進し、人間を素物など情が実行の変を機して共善性が上まれて見いと対象を対します。 5 時間があるというにします。 4 かまが成れるというし、サスルイト人を含むりを表して表情が当時に対して見いと対を多めを表が表が表が当時に対して見いと対象と関リす。 5 時間があるというとします。 5 時間があるというとはます。 4 対策の場がよりを見て生命に同りの有量を提供していきます。 5 時間が成れる中間はなどにより、表現前の不同り目表などにより、教育集の月間のます。(地域を対すを見て生命に引いの情報と表現しています。) 5 時間が成れる日間はなどにより。 環境が出ると表により、対象の場がに対しています。 5 時間が成れる日間が表しています。 5 時間が成れる日間が表しています。 5 に対しています。 5 に対しています。 5 に対しています。 5 に対しています。 5 に対しています。 5 に対しています。 5 に対しないといます。 6 に対しています。 7 たまれ、一般の過ぎので見ないまりに表します。 6 に対しないます。 7 たまれ、一般の過ぎので見ないまでは、影をはいます。 6 に対しています。 7 たまれ、といます。 8 に対しています。 7 たまれ、といます。 7 たまれ、といます。 7 たまれ、といます。 7 たまれ、といます。 7 たまれに対します。 7 たまれ、といます。 7 たまれに対します。 7 たまれ、といます。 7 たまれに対します。 8 に対します。 7 たまれに対します。 1 によるながします。 1 によるながします。 1 によるながの対しているよう。 7 たまれに対します。 1 によるながします。 1 によるなが、といます。 1 によるなが、対しています。 2 たまれに対します。 1 によるなが、といます。 2 たまれに対します。 1 によるなが、といます。 2 たまれに対します。 2 たまれに対します。 2 たまれに対します。 2 たまれに対します。 2 たまれに対します。 3 にはながします。 4 によるなが、といます。 4 によるなが、といます。 5 にはながなが、といます。 5 にはながなが、といます。 5 にはなが、といます。 5 にはなが、といます。 6 にはなが、といます。 6 にはなが、といます。 7 にはなが、といます。 6 にはなが、といます。 7 にはなが、といます。 7 にはなが、といます。 8 にはなが、といます。 7 にはなが、といます。 8 にはなが、といます。 8 にはなが、といます。 9		×				
	病棟	2	年1回アンケート結果を公表し、接遇改善に努めます。		×		
		3	院内研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。		0		
		1	接遇を重視し、わかりやすい説明、スムーズな診療が受けられるように看護を提供します。	· 福	\triangle		
	从本	2	在宅療養上の相談・支援を通し、患者様が納得して継続治療を行えるようサポートします。	山 看	0		
看護 部	7171	3	常に新しい技術や専門知識の習得に努め自己成長を目指します。地域完結型の医療を目指し、療養上	護	0		
				部長			
		1		坟	0		
	地連室	2			0		
					0		
					×		
		\vdash			^		
	放射線	2			0		
			医療機器の高額な消耗品について、故障前の予防的な交換を極力控えるなど、コスト削減を図りま		0		
					_		
		1	検査機器の効率的な管理を行い無駄を削減します。 	 	0		
	検査 	2	病院広報などを通じて患者向けの情報を提供していきます。 		0		
		3		芝	0		
		1		田 医	0		
医療技術部	薬剤	2	地域の医療・介護職員への薬剤情報提供や勉強会開催などにより、連携強化と教育を行っていきます。	療 技	\triangle		
		3		部	0		
		1	外来、一般入院に加えて、地域包括ケア病床のリハビリテーション提供体制を整え、リハビリテー	長	0		
	リハヒリ	2			0		
		3			0		
		1	栄養指導やNST加算を通して、診療報酬に積極的に関わっていきます。		0		
	議議 2 総合等表を不としたプライマリケアを実施しより。(数分へ行わます) 3 テース関係を利定し、多数担により入院情報を共有します。 1 下以入院の書籍の名/日を封持し、数益地に対めます。 2 千田アンケート構具を公産し、販売のスキケアライを開発して製造のよう。 3 配入情報を実施し、販売のスキケアライを開発して製造が受けられるように否議を提供します。 4 完成を主義し、わかりかすいが引、スイーズを設慮が受けられるように否議を提供します。 2 在生業会上の制法・支援を選し、最老権が前径して製造は支援を行うとようサポートします。 3 の相談を制度を必要して参考を対象ととを関係をリートします。(地域との対象との対象との対象と対象を受け、上します。(地域を)の対象と認めの検索を通し、レスパイト入験を含む入院を行入代数の増加及び次分場につなだよう。 3 内容と介証・予防・土地で度が対さしたが入場の下の次を入放受け入れ合業の増加及び次分場につなだよう。 4 内容の存在でまに応じし、レスパイト入験を含む入院を行入れ合業の増加及び次分場につなだよう。 5 内容と介証・予防・土地で度が一つとなり、地域へ属ケアシステムの構態を実施しているよう。 4 内容の合理をが得し、大型度機能の改善を選してを書格が上院に対して良い選手を深め、信意を含したまるがあるようにします。 4 検索を対象と整めらいますに表す。 4 検索を対象と関係の表すとします。 5 内容と関係のが実施を発した機能を開放します。 2 内院に様々とを通じて患者向けの情報を提供したいるよう。 4 検索を対象と対象と関係の表したのでは、対象に対しているよう。 5 対象に様々となども必要した変も使うのよりななどにより、連測質の作成に対めまっ。(し地を関係の外別は変を発します。 2 対象に関係の意味がよりであるから、学音を持てしまり、連測質の作成に対ります。 (の地を関係のを対しているます。) 対象を対しているます。 4 大型のなりが表しているます。 5 大学のなりが表している意味のの意味を定めているから、学音を持ているます。 5 大学のならなままで大型音を表しているなに関いなもまります。 5 大学のカースとして、発展を発しているなに、アコを持続しているする。 5 大学のカースとして、発展を対しているなに、対象となるとん、対象・支持のの主きをもののよりをとして、発展の変を可能を表しまりに表します。 5 大学の方として、発展の実をが見るとから、分がシステムを定めているが表します。 5 大学の方として、発展を対しているまりに表します。 5 大学の方として、発展的の文をやしまさらいの表しているまりに表します。 5 大学の方として、発展を表します。 5 大学の方として、発展的が表しているまりに対しが表しまりに、ますのの表を経りできるもに、関す場の表を経しませるの表しまりに対しています。 5 大学の方として、発展の表を表しているなどともに、関す場の表をともしていらます。 5 大学の方としている表に、関す場の表をとれているまりに表します。 5 大学の方としている表に対している表に対しているます。 5 大学の方としている表に対している表に対しているます。 5 大学の方としている表に対しているます。 5 大学の方としている表に対しているます。 5 大学の方としているませる。 5 大学の方としているます。 5 大学の方といるます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方といるます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としているます。 5 大学の方としている		0				
			0				
		1	正しく漏れのない保険請求事務と未収金回収を進め、収入確保に努めます。		0		
	医事	2		杉	0		
		3	病院の顔として、患者様の不安や心配を少しでも和らげるよう接遇スキルを高めます。	本	\triangle		
事務部		1	経営の効率化を図るため、分析システム等を活用し経営指標のモニタリングを行います。	事務	0		
		2	 老朽化した建物 医療機器等の現状を把握し 限られた予算の中で優先度を老慮しながら施設 設備				
	庶務			長	0		
		3			0		
			YPRMMに力切よりo				

- ※3つの約束は、概ね以下の視点で3点挙げてください。
 - 1:「持続可能な地域医療提供体制の確保」=経営強化、収支改善に関すること
 - 2:「市民に信頼される病院」=患者、市民のニーズ対応や満足度向上に関すること
 - 3:病院職員のスキル向上、働き甲斐などに関すること

強化プラン項目	強化	アクションプラン	具体的アクション		担当 T	目標		T			結果	備考
	プラン頁			部署·委員会等	責任者 職・氏名 院長 中島恭二		6月	9月	12月	3月		
新改革プランからの継続(強化プランに盛しい)	12	出張診療所の存続可否	協議の継続	診療部·事務部	事務長杉本茂夫		×	×	×	×	×	現状維持
り込まない項目)	13	送迎サービス	協議の継続	診療部·事務部	院長 中島恭二 事務長 杉本茂夫		×	×	×	×	×	II
	20	医師の確保	県や大学への働きかけ	診療部·事務部	院長 中島恭二 事務長 杉本茂夫	医師5名体制確保	×	×	Δ	×	×	県へ要望活動を行うが、厳しい状況である
医師・看護師等の確保と働き方改革	20	看護師の確保	人事課との調整	事務部·看護部	事務長 杉本茂夫 看護部長 佐々木眞由美	R7までに2名程度確保	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	ナース人材バンクを利用し、2名の看護師を確保しかし退職者もおられ、結果増加せず
 	20	社会福祉士の確保	人事課との調整	事務部	事務長 杉本茂夫	R6·1名	0	_	_	_	0	R6年4月に正規職員1名配置済
	20	医師事務作業補助者の確保		事務部医事係	係長 前川聖華	必要時確保		_	_	_	_	R6年度は医療事務員を優先的に採用した
	22	甲賀病院主催カンファレンス参加	カンファレンス参加	感染対策委員·ICT	副院長 北川貢嗣 看護科係長 横井佳恵	4回/年参加	0	0	0	0	0	定期的に参加できた
新興感染症への対応	22	感染防護具の確保	備蓄状況チェック	感染対策委員·ICT	副院長 北川貢嗣 看護師 山田 翔	2か月分以上常時確保	0	0	0	0	0	在庫:1年分以上有
	22	職員研修	研修の実施	感染対策委員·ICT	副院長 北川貢嗣 看護師 山田 翔 主査(臨) 土田真生	年3~4回の開催	0	0	0	0	Δ	2回の研修は実施済 目標の3-4回には届かず
長寿命化計画について	22	施設の在り方検討	患者動向を踏まえR11までに検討	事務部	事務長補佐 奥田勝之	検討方法の検討	_	_	_	_	_	長寿命化の前に当院の在り方決定が必要 (院内での)委員会設置が必要
	22	エコー、電気メス等の更新	デモ等を行い候補機種を選定	診療部·看護部·事務部 (医療機器購入審議会)	副院長 北川貢嗣 看護科係長 高岡仁美 事務長補佐 奥田勝之	R6·更新	0	0	0	0	0	今年度購入すべき機器の導入は完了 (電気メスはオートクレーブに変更)
医療機器	22	内視鏡の更新	デモ等を行い候補機種を選定	診療部·事務部 (医療機器購入審議会)	医長 今枝加奈子 事務長補佐 奥田勝之	R7·更新予定	×	Δ	0	0	Δ	R7年度で更新する予算は確保:済 AI搭載モデルのデモは翌年度に延期
	22	電子カルテ更新	デモ等を行い候補機種を選定	電子カルテ検討委員会 (医療機器購入審議会)	医療技術部長 木下昌昭 事務長補佐 奥田勝之	R10·更新	_	_	_	1	1	電子カルテ用端末はR6,R7年度に分けて更新
	22	その他随時更新	優先順位を決め適正な更新	(医療機器購入審議会)	院内管理職 事務長補佐 奥田勝之		×	Δ	0	0	0	会議は9/17実施し、翌年度購入機器等を決定 緊急を要する医療ガス設備更新は補正予算で対応
	23	マイナンバーカードの促進	利用促進(ポスター、窓口)	事務部医事係	医事係長 前川聖華	利用者数UP	Δ	Δ	0	0	0	啓発を行い、年度末には利用率は30%弱まで上昇
デジタル化への対応	23	オンライン診療	導入可能性検討	医療技術部 事務部医事係	薬剤科係長 林多嘉子 医事係長 前川聖華	検討の実施	×	Δ	Δ	Δ	_	医師の研修が必要 導入は見送り
	23	セキュリティ対策	セキュリティ対策の実施		医療技術部長 木下昌昭	定期確認	Δ	Δ	Δ	0	0	職員研修リモートeラーニングを実施 ネットワークのリモート保守も開始することに
	23	自動会計システム、電子決済サービス	導入可能性検討	事務部医事係·庶務係	係長 前川聖華 庶務係長 山崎真智子	検討の実施	Δ	Δ	0	0	0	クレジット、QR支払いも導入完了! 自動会計システムの導入は保留
	23	問診Alシステム	導入可能性検討	医療技術部 事務部医事係	薬剤科係長 林多嘉子 医事係長 前川聖華	検討の実施	×	Δ	Δ	Δ	_	ユビーにて検討(先進地も視察済) 導入は見送り
	24		病病連携強化	地域連携室	看護部長 佐々木眞由美	連携会議定期開催	0	0	0	0	0	定期的な連携会議に参加
	19	地域連携の強化	公立甲賀病院からの患者受け入れ	地域連携室	看護部長 佐々木眞由美	R6·60名	0	0	Δ	Δ	Δ	56件にて目標値には届かず
	19		レスパイト入院の受け入れ	地域連携室	看護部長 佐々木眞由美	48名	0	0	0	0	0	94件受け入れで目標の約2倍の成果
	19		救急応需率	診療部·看護部·事務部 (医療機器購入審議会)	医局 医師全員 看護部長 佐々木眞由美	80%	0	×	Δ	Δ	Δ	目標80%に対し、77.7%であった
	19	- 救急隊との連携	救急受け入れ件数	診療部·看護部·事務部 (医療機器購入審議会)	医局 医師全員 看護部長 佐々木眞由美 事務長補佐 奥田勝之	160件	×	Δ	Δ	Δ	Δ	上記と同様(実績:153件)
	_		施設基準の獲得	地域包括ケア開設チーム	医療技術部長 木下昌昭	R6.7算定開始	Δ	Δ	0	0	0	開始時期は遅れたが、年度内に施設基準を取得し13 床での運用を開始した
	_	地域包括ケア入院医療管理料	看護必要度の正確な評価・基準達成	看護部	看護科係長 高岡仁美 看護科係長 横井佳恵	看護必要度Ⅱ8%以上	0	0	0	0	0	問題なし
	19			看護部・リハ科	看護部長 佐々木眞由美	75%	0	0	0	0	0	厳しいが、何とか基準内をクリア(年度末76.8%)
	24		ホームページの運営	広報委員会	薬剤科係長 林多嘉子		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	R6年度閲覧数は39,716件(R5年度51,949件) 感染症外来患者数の減少による閲覧数の低下が考え られるがインスタ、LINE等でも情報提供中
具体的取組	24	─ 広報活動	出前講座の実施	健康教室·健康塾担当	医局 医師全員 栄養科係長 福井里佳	年間2回以上	0	0	0	0	0	健康教室2回実施済 出前講座も依頼あれば実施予定
	24		病院フェスタの開催検討		医療技術部技師長 宇野孝志		Δ	Δ	Δ	Δ	_	R7年度では実施せず、8年度以降で調整
	25		分析システムの活用	事務部庶務係 診療情報管理委員会	事務長補佐 奥田勝之 医療技術部長 木下昌昭	毎月モニタリング	Δ	Δ	0	0	0	医療政策室も関与 GHCの病院ダッシュボードは導入済
	23		病床利用率の改善	看護部·事務部	看護部長 佐々木眞由美	年平均80%	0	0	Δ	Δ	Δ	目標80%に対し、年度通算で76.3%
	23		延べ入院患者数の増加	看護部·事務部	看護部長 佐々木眞由美	年11,680人	0	0	Δ	Δ	Δ	目標11,680人に対し11,141人(約95.4%)
	23	■ 経営指標の管理 ■	入院1日単価のアップ	診療部 看護部 事務部医事係	医局 医師全員 看護部長 佐々木眞由美 係長 井上敦美	29,576円	Δ	Δ	Δ	×	×	年度平均 25,869円/日·人(約87.5%) 地ケア導入時期が遅れた(7→12月) 導入が21→13床が原因
	23		外来患者数の維持	診療部 事務部医事係	医局 医師全員 係長 前川聖華	年24,600人	×	×	×	×	×	21,361人で目標に対し86.8% (感染症外来にもそれほど患者殺到せず)
	23		外来単価の維持	診療部 事務部医事係	医局 医師全員 係長 前川聖華	10,000円	Δ	Δ	×	×	×	9,003円/人で目標の約9割 (新型コロナの診療報酬の特例の終了が大きい)

収支計画および実績

(畄台	2、円、%)	実績	実績	推計	概算	実績	推計	推計	 推計
	年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和6年決算	令和7年度	令和8年度	令和9年度
区分				(医師 5 人想定)	(医師4人体制)				
	1. 医	585, 594, 660		693, 864, 000			693, 864, 237	715, 837, 237 619, 541, 000	715, 837, 237
		489, 298, 423	509, 185, 363	597, 568, 000			597, 568, 000		619, 541, 000
	うち入院収益	249, 501, 709	293, 417, 286	351, 568, 000	316, 411, 200	288, 203, 514	351, 568, 000	373, 541, 000	373, 541, 000
	うち外来収益	239, 796, 714	215, 768, 077	246, 000, 000	221, 400, 000			246, 000, 000	246, 000, 000
経	(2) そ の 他	96, 296, 237	47, 901, 557	96, 296, 000	96, 296, 000		96, 296, 237	96, 296, 237	96, 296, 237
	クラ他云可東担亚 a	38, 731, 000	·	38, 731, 000				38, 731, 000	38, 731, 000
214	2. 医 業 外 収 益	697, 101, 949		125, 933, 000	125, 933, 000	127, 492, 489	182, 180, 307	179, 833, 187	174, 334, 483
_	常 (1) 他会計負担金・補助金	154, 853, 000	99, 420, 000	101, 402, 000	101, 041, 000	100, 742, 000	157, 404, 269	157, 404, 269	157, 404, 269
収	(2) そ の 他	542, 248, 949	140, 230, 324	24, 531, 000	24, 501, 000	26, 750, 489	24, 776, 038	22, 428, 918	16, 930, 214
益	又 経 常 収 益 (A)	1, 282, 696, 609	796, 737, 244	819, 797, 000	760, 040, 200	700, 775, 942	876, 044, 544	895, 670, 424	890, 171, 720
	1. 医 業 費 用 b	725, 382, 412	712, 839, 021	854, 103, 247	808, 013, 000	759, 449, 047	863, 578, 597	875, 217, 718	868, 432, 263
的支	支 (1) 職 員 給 与 費 c	469, 490, 249	485, 413, 677	566, 341, 258	533, 163, 000	522, 013, 220	585, 004, 671	590, 854, 717	596, 763, 264
収	(2) 材 料 費	105, 894, 260	79, 809, 122	105, 603, 000	95, 000, 000	91, 067, 420	104, 773, 500	108, 091, 423	108, 091, 423
	(3) 減 価 償 却 費	46, 581, 656	43, 920, 520	41, 190, 989	38, 882, 000	40, 080, 866	40, 597, 950	38, 938, 177	26, 244, 175
支	(4) そ の 他	103, 416, 247	103, 695, 702	140, 968, 000	140, 968, 000	106, 287, 541	133, 202, 477	137, 333, 401	137, 333, 401
	2. 医 業 外 費 用	29, 627, 847	26, 463, 607	10, 178, 000	10, 178, 000	24, 802, 333	19, 560, 343	18, 731, 015	17, 877, 439
	経常費用(B)	755, 010, 259	739, 302, 628	864, 281, 247	818, 191, 000	784, 251, 380	883, 138, 940	893, 948, 733	886, 309, 702
経	圣 常 損 益 (A)-(B) (C)	527, 686, 350	57, 434, 616	△ 44, 484, 247	△ 58, 150, 800	△ 83, 475, 438	△ 7,094,396	1, 721, 691	3, 862, 018
	1. 特 別 利 益 (D)	500, 565	181, 819	0	10,000	14, 055, 539	0	0	0
特 別	寺 うち他会計繰入金	0	0	0		0	0	0	0
収支	又 2. 特 別 損 失 (E)	3, 872, 450	4, 272, 615	10, 000	10, 000	6, 369, 120	3, 872, 450	3, 872, 450	3, 872, 450
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 3, 371, 885	△ 4,090,796	△ 10,000	0	7, 686, 419	△ 3,872,450	△ 3,872,450	△ 3,872,450
純	拒 損 益 (C)+(F)	524, 314, 465	53, 343, 820	△ 44, 494, 247	△ 58, 150, 800	△ 75, 789, 019	△ 10, 966, 846	△ 2, 150, 759	△ 10, 432
累	引 積 欠 損 金 (G)	13, 370, 535	△ 39, 973, 617	9, 351, 803	△ 37, 873, 617	37, 915, 402	20, 318, 649	22, 469, 408	22, 479, 839
流	でである。 ・	959, 030, 152	990, 396, 045	892, 602, 636	776, 297, 431	875, 807, 202	866, 565, 322	849, 765, 555	829, 011, 180
流	でである。 ・	107, 817, 806	100, 341, 610	118, 540, 083	125, 228, 975	121, 704, 993	119, 337, 745	120, 131, 654	120, 976, 070
不良	うち、一時借入金	0	0	0		0	0	0	0
債器	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0		0	0	0	0
	4年度許可債で未借入又は未発行の額 (エ)	0	0	0		0	0	0	0
差	き 引 不 良 債 務 (オ) { (イ)-(エ) } - { (ア)-	△ 851, 212, 346	△ 890, 054, 435	△ 774, 062, 553	△ 651, 068, 456	△ 754, 102, 209	\triangle 747, 227, 577	△ 729, 633, 901	△ 708, 035, 110
	1. 企 業 債	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0		0	0	0	0
収		41, 167, 000	38, 300, 000	32, 370, 555	32, 370, 000	32, 103, 000	33, 757, 996	34, 289, 771	36, 194, 043
資入	入 4. そ の 他	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
本	収 入 計 (a)	41, 167, 000	38, 300, 000	32, 370, 555	32, 370, 000	32, 103, 000	33, 767, 996	34, 299, 771	36, 194, 043
的 —	1. 建 設 改 良 費	2, 614, 700		43, 824, 500	43, 495, 000	40, 946, 092	10, 000, 000	10, 000, 000	10, 000, 000
収支		62, 831, 416		44, 416, 000	44, 416, 000			61, 830, 488	62, 624, 397
支	3 そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	世 支 出 計 (b)	65, 446, 116	94, 646, 967	88, 240, 500	87, 911, 000	91, 195, 272	71, 032, 826	71, 830, 488	72, 624, 397
差	-	△ 24, 279, 116	△ 56, 346, 967	△ 55, 869, 945	△ 55, 541, 000	△ 59, 092, 272	△ 37, 264, 830	△ 37, 530, 717	△ 36, 430, 354
		24, 279, 116		55, 869, 945	57, 341, 000		37, 264, 830	37, 530, 717	36, 430, 354
2	,	0	00, 010, 001	00,000,010	01, 011, 000	00, 002, 212	01, 201, 000	01,000,111	00, 100, 004
補 <u>.</u> 3 財 .	,	0		0	0		0	0	0
財 源 4	,	0		0	0		0	0	0
-	. [*]	24 270 116	56 246 007	55 960 045	57 241 000	50 000 070	27 264 020	27 520 717	26 420 254
補 塡		24, 279, 116	56, 346, 967	55, 869, 945	57, 341, 000	59, 092, 272	37, 264, 830	37, 530, 717	36, 430, 354
		100.0	107.0	0	00.0	0	00.0	100.0	100
-	常 収 支 比 率 (A)/(B)×100	169. 9	107. 8	94. 9	92. 9	89. 4	99. 2	100. 2	100. 4
修正		75. 4	78. 2	76. 7	73. 7	70. 4	75. 9		78. 0
	給与費対医業収益比率 c/a×100	80. 2	87. 1	81.6	84. 1	91. 1	84. 3		83. 4
病	床 利 用 率	39. 2	55. 2	80. 0	72. 0	76. 3	80. 0	85. 0	85.0

一般会計等からの繰入金

区分			年 勇	Litz	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (医師 5 人想定)	令和6年度 (医師 4 人体制)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収	益	的	収	支	193, 584, 000	100, 160, 000	140, 133, 000	139, 772, 000	139, 473, 000	196, 135, 269	196, 135, 269	196, 135, 269
資	本	的	収	支	41, 167, 000	38, 300, 000	32, 370, 555	32, 370, 000	32, 103, 000	33, 767, 996	34, 299, 771	36, 194, 043
	合		計		234, 751, 000	138, 460, 000	172, 503, 555	172, 142, 000	171, 576, 000	229, 903, 265	230, 435, 040	232, 329, 312